令和８年11月20日
於：庁議室

「伊那市誕生20周年 未来を織りなす 伊那市小中高生美術作品展」について
資料説明原稿

【はじめに】
〇伊那市・高遠町・長谷村が合併し新しい伊那市が誕生して20周年の節目を迎えた。伊那市はこれまで「未来を織りなす創造と循環のまち伊那市」を将来像に掲げ、暮らしやすく平和で希望に満ちたまちづくりを進めてきた。今回、伊那市誕生20周年を記念して、伊那市の未来を担う小中学生、高校生の美術作品展を企画した。児童・生徒が現在（いま）の自分を表現した作品を紹介する。

【企画の動機】
〇令和５年度に「伊那市に美術館をつくる会」から寄附を頂戴した。
〇「市内の小中学生に自らの思いなどを作文や絵画で表現する想像力を身につけてもらいたい」という寄附者の意向を受け、寄附金を活用する事業を企画した。

【展覧会情報】
〇展覧会の会期は、令和８年12月12日（土）～令和９年１月17日（日）
〇初日には、オープニング式典を行う。

【作品募集】
〇展覧会の開催に当たっては、出品作品を小中学校、高校を通じて公募した。
〇応募作品数は、小学生 82作品、中学生 36作品、高校生 36作品の合計154作品。
〇小学生の部、中学生の部、高校生の部それぞれ審査を行い、各部の伊那市誕生20周年記念大賞（金賞）を１作品、伊那市長賞（銀賞）を２作品、伊那市教育長賞（銅賞）５作品、選ばせてもらった。
〇いただいた寄付金は、主に受賞者への賞品や応募いただいた全児童生徒への記念品の購入費に充てた。
〇受賞者は、オープニング式典で表彰させていただく。

【まとめ】
〇美術作品を仕上げるには、テーマ（動機・課題）やモチーフ（解決方法）などを能動的に考え、アウトプット（表現）するという、今、学校でも子どもたちに身につけてもらいたいと取り組んでいる要素が詰まっている。このような事業が子どもたちの成長につながることを願っている。